

平成24年 死亡災害発生事例

平成24年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらし	事故の型	起因物
1	1月	15時台	製造業 (窯業)	50～99人	セメント原料の入ったタンク(すり鉢状)内部の清掃作業(原料ダスト掻き出し作業及びバキューム作業)を6人で行っていたところ、壁側に付着した原料ダストが崩壊し、作業者の一人が足を取られ転倒、原料ダストに埋もれたもの。	崩壊・倒壊	石、砂、砂利
2	1月	13時台	製造業 (鉄鋼)	100～299人	鉄筋を結束機に運搬するコンベア機械の作動確認を行う作業において、鉄筋をコンベアから別のコンベアに移動させる箇所に不具合が生じたことから、点検を行っていたところ、機械が急に動き出し、機械のシャフトとコンベアの間胸が挟まれたもの。点検は、コンベア機械の動力を停止せずに行っていた。	はさまれ・巻き込まれ	コンベア
3	1月	14時台	製造業 (輸送)	100～299人	天井クレーン(主巻4.8トン/補巻2.8トン)の主巻を使用し、プレス機械に使用する金型を移動していたところ、高さ2.5メートルの棚上に置かれていた金型に、使用していない補巻のつり具が引っ掛かり、クレーンを操作していた被災者の頭部に金型(約2トン)が落下したものの。	飛来・落下	玉掛用具
4	1月	8時台	建設業 (その他の建築)	1～9人	軽量鉄骨造のアパートの解体工事現場において、解体した廃材を重機でつかみ、仮置場へ移動していたところ、廃材とともに解体中の建物の梁を引っ張ってしまい、2階外階段の床を支持していた鉄骨がたわみ、床が脱落、同床で溶断作業をしていた作業員2名が約3メートル下に墜落し1名が死亡したものの。	崩壊・倒壊	建築物、構築物
5	2月	10時台	建設業 (建築)	10～29人	物流センター新築工事現場において、屋上でのケーブルラックの布設工事中、休憩をするために屋上から屋内の2階へ続くケーブルの引き込み口から入り、梁を渡り、床に降りるため、更に梁下の枠組み足場を通過していたところ、足場の床の端から3.9メートル下の2階床に墜落し、頭部外傷により死亡したものの。	墜落・転落	通路

平成24年 死亡災害発生事例

平成24年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらし	事故の型	起因物
6	2月	11時台	陸上貨物運送事業	30～49人	4トントラックを運転し、得意先の会社に搬入を終え会社に戻っていた。途中、国道において、信号待ちで停車していた大型ダンプトラックに後方から追突し、頭部等を強打したものの。	交通事故(道路)	トラック
7	2月	15時台	陸上貨物取扱事業	100～299人	事業場敷地内において、13トントラックの荷台の後ろで、観音開きの後部扉が開いており、コンパネ材13枚(木製90×180センチメートル、1枚10キログラム)の下敷きになっている被災者が発見された。病院にて治療を受けていたが、6日後に死亡したものの。	崩壊・倒壊	その他の用具
8	3月	5時台	陸上貨物取扱事業	300人～	仕事を終え、帰宅するために構内の歩行者用通路を通過して駐車場に向かっていたところ、同事業場の労働者が運転する10トントラックに轢かれたものの。	激突され	トラック
9	3月	5時台	建設業(建築)	1～9人	社有車(9人乗りワゴン車)に5人の作業員が乗り込み、会社から仕事先の建設現場へ向かっていた。途中、片側2車線の幹線道路を走行中、緩い下り坂の緩い右カーブに差しかけたところ、車体が右方向にスリップし対向車線にはみ出し、対向車線を走ってきた大型バスと正面衝突した。この事故により、作業員1人が車外に投げ出され死亡し、残り4人が重傷を負ったものの。現場は、前日の雪が凍結して車がスリップした可能性がある。	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク
10	3月	10時台	製造業(金属)	10～29人	転造盤を使用して全ねじボルトの加工中に、何らかの理由で回転していた回転軸の自在継手の箇所腕から巻き込まれて被災し、治療を受けていたが、24日後に死亡したものの。	はさまれ・巻き込まれ	その他の金属加工用機械

平成24年 死亡災害発生事例

平成24年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらし	事故の型	起因物
11	3月	14時台	製造業 (ガス)	1~9人	営業のため、軽ワゴン車で市道を走行中、緩い左カーブに差しかけた際、対向車線に進入し、対向車線の大型タンクローリーと正面衝突したものの。	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク
12	3月	13時台	建設業 (その他の建設)	1~9人	エレベーター(人荷用、積載荷重500キログラム)の改修工事中、2Fの押しボタンスイッチの交換のため、搬器を途中(2Fフロアーから約1.5メートル上部)で止め、搬器の扉と入口の扉は0.3メートル開放したままで作業を行っていたところ、2Fフロアで作業をしていた被災者が約8メートル下のエレベータピットに墜落したものの。	墜落・転落	エレベーター、 リフト
13	3月	2時台	陸上貨物 運送事業	10~29人	片側2車線の高速道路において、被災者は高所作業車で走行車線を運転していた。途中、追い越し車線で事故があり、事故を避けようと追い越し車線を走行していたトラックが車線変更したため被災者の車に激突、その衝撃で被災者の乗った高所作業車は路側帯に停車していたトラックに激突したものの。	交通事故 (道路)	トラック
14	3月	0時台	陸上貨物 運送事業	30~49人	高速道路において、被災者の運転する中型トラックが渋滞で停車していた大型トラックに追突したものの。被災者は搬送された病院で死亡したものの。	交通事故 (道路)	トラック
15	4月	13時台	製造業 (電機)	10~29人	自社から社有車を運転し、取引先へ向かうため片側一車線の県道を走行していたところ、対向車線にはみ出し、走ってきた大型トラックと正面衝突したものの。	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク

平成24年 死亡災害発生事例

平成24年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
16	4月	16時台	商業 (卸売)	1~9人	スクラッププレスを使用して2人でスクラップのプレス作業を行っていた。不要となったアルミサッシをプレスするために一人が全自動の稼働ボタンを押したところ、被災者がプレスの上蓋と資材搬入口の間に首を挟まれ、死亡したものの。	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械
17	4月	8時台	建設業 (その他の建設)	1~9人	電気配線工事において、梁に配線を通す穴を開ける作業のために電気ドリルを持って脚立に乗り、作業を行っていたところ、脚立から墜落して頭部を強打し、2日後に死亡したものの。	墜落・転落	はしご等
18	4月	10時台	製造業 (食料品)	1~9人	工場に設置されたテーブルリフターを使用し製品を2階から1階に下ろす作業を行っていた労働者が、開口部の状態になっていた2階搬入口から1階のリフターの上に墜落したものの。	墜落・転落	開口部
19	5月	11時台	通信業	100~299人	配達中に脇道から片側2車線の道路をバイクで横断しようとしていた。右方向から走行車線を走行してきた乗用車が停車してくれたので、進入したところ、追い越し車線を走行してきた乗用車と衝突したものの。	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク
20	5月	9時台	製造業 (非鉄)	30~49人	アルミパイプを加工する機械(自社製)の修理作業中、部品である棒材(直径10ミリ、長さ約50センチメートル)をチャックに固定して回転させ、表面をヤスリで研磨していたところ、何らかの原因で回転していた棒材に側頭部を弾かれた。被災者は搬送された病院で翌日に死亡したものの。	激突され	その他の金属加工用機械

平成24年 死亡災害発生事例

平成24年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらし	事故の型	起因物
21	5月	11時台	建設業 (建築)	1~9人	テント倉庫の張り替え作業を行っていた労働者が、骨組みの上から約7メートル下に墜落し、頭部を強打したものの。	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
22	6月	9時台	製造業 (一般機械)	10~29人	河川の取水堰水門の修理作業を2名で行っていた。手動式水門開閉装置のクラッチ修理中に不意に水門が開き、これに伴い開閉装置のハンドルが急回転し、ハンドルが取付部から外れて飛び、被災者の胸部に当たったもの。	飛来・落下	人力機械
23	6月	18時台	製造業 (窯業)	10~29人	生コンクリートを調合するプラントにおいて、ミキサーのハッチ(約70×約50センチメートル)を開けて内部にある混合羽根の洗浄作業を1人で行っていたところ、何らかの原因で混合羽根に巻き込まれているところを発見された。混合羽根を回転させたままの作業であったと思われる。	はさまれ・巻き込まれ	混合機、粉砕機
24	6月	10時台	林業	1~9人	伐倒木の搬出作業において、機械集材装置の上部にて伐倒木の荷掛け作業を行っていた。被災者に無線で連絡が取れなかったことから、確認に行ったところ、15メートル下の沢に転落しているところを発見したものの。	墜落・転落	地山、岩石
25	6月	9時台	建設業 (建築)	10~29人	建築工事現場の枠組足場上から約25メートル下に墜落したものの。被災者は足場上を移動する際、親綱にかけていた安全帯を掛け替えようと外したときに墜落したと推定される。	墜落・転落	足場

平成24年 死亡災害発生事例

平成24年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
26	6月	9時台	清掃・と畜業 (ビルメン)	300人～	管理運営業務の委託を受けているメンテナンス業者の労働者3人が、体育館の照明器具の取り換え作業を行っていたところ、労働者の1人が円柱の梁上からバランスをくずし、天井を突き抜け、高さ約21メートル下に墜落したものの。安全帯は着用していたが、使用していなかった。	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
27	7月	11時台	建設業 (建築)	1～9人	工場屋根のスレート交換中にスレートを踏み抜き、高さ約7メートルからコンクリート床に墜落したものの。歩み板等は設けていなかった。	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
28	7月	11時台	建設業 (建築)	1～9人	外壁塗装工事現場において、作業が終わり足場を解体作業中、休憩をとるために地上へ降りようと、足場の建地を伝わっていたところ、突然、体調不調を訴え、意識を失った。被災者は搬送された病院で約2時間後に死亡したものの。家庭への電気の引き込み線と足場が接触し、通電した足場に触れた被災者が感電したものと推定される。	感電	足場
29	8月	17時台	建設業 (その他の建設)	1～9人	印刷機のラインを設置する工事現場において、同ラインに付属する装置の調整作業を単独で行っていた被災者が、同装置のストロークする部分とガイドローラーに挟まれているところを発見されたものの。	はさまれ・巻き込まれ	印刷用機械
30	8月	6時台	製造業 (その他の製造)	300人～	大型洗濯機に付属する洗濯物を脱水処理する油圧プレスで洗濯物のシートと共にプレスされた状態で発見されたものの。単独作業であり目撃者はいないが、被災者は大型洗濯機の投入口へ墜落したものと推定される。	墜落・転落	その他の一般動力機械

平成24年 死亡災害発生事例

平成24年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
31	8月	8時台	その他の事業 (警備)	100~299人	スーパーの交通誘導作業中に、階段そばの歩道で意識不明の状態で見失われているところを発見され、病院に搬送されたが、翌日に死亡したもの。被災者は通路スペース確保の目的で、カラーコーンを上記階段を上った先にある置き場に取りに行く直前で、階段から転落したものと推定される。	墜落・転落	階段、棧橋
32	8月	8時台	建設業 (建築)	1~9人	木造住宅工事現場において、単管足場から躯体側に腕木を4本張り出しその上に木製の板2枚を渡して足場とした。親方と被災者はそこに乗り、作業を行っていたところ、2名が乗っていた足場が崩壊し、2名は約3.5メートル下の建物内に墜落したもの。(1名死亡、1名休業)	墜落・転落	足場
33	8月	11時台	製造業 (機械)	50~99人	出張先の工場(海外)において、加工機械の設置高さを微調整するため、機械下部と床面の間にバールを入れて持ち上げ、スペーサーを挟む作業を4人で行っていたところ、その機械(約400キログラム)が被災者側に倒れて頭部及び胸部を挟まれたもの。	激突され	機械装置
34	8月	16時台	製造業 (金属)	10~29人	工場内において、鋼材の研磨加工を行っていたところ、被災者の後ろに積み重ねてあったH型鋼材(15本、約300キログラム、高さ約1.2メートル)が崩れ、被災者はH型鋼材の下敷きになったもの。	崩壊・倒壊	金属材料
35	9月	15時台	商業 (その他の卸売)	1~9人	廃棄物として処理するドラム缶の上蓋部分をバーナーで溶断していたところ、突然、ドラム缶が爆発し、上蓋が吹き飛び、作業していた被災者の頭部に当たり、死亡したもの。この事故でドラム缶からは炎が上がり、近くにいた作業員も軽い火傷を負った。	爆発	荷姿のもの

平成24年 死亡災害発生事例

平成24年確定

番号	発生日	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
36	9月	16時台	製造業 (金属)	1~9人	被災者はH鋼材の積み上げられ壁のようになっていた鋼材との間に、胸から顎にかけて挟まれているところを発見された。天井クレーン(つり上げ荷重2.8トン)を使用し、10本1組(1本約220キログラム)で積み上げていたH鋼材をつり上げ、運搬する作業をしていたところ、つり荷が崩れ被災したと推定される。	崩壊・倒壊	クレーン
37	10月	9時台	建設業 (建築)	1~9人	被災者は木造建築現場において、親方と2人で2階の床張り作業を行っていたところ、梁上から約3メートル下の建物内に墜落して頭部を強打、病院に搬送されたが、死亡した。安全帯、墜落防止用ネット等は使用されていなかった。	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
38	10月	10時台	陸上貨物 運送事業	1~9人	現場で使用する重機をトラックで運搬していた。途中、交差点を右折したところ、重機が道路上に落下。そのため、トラックを運転していた被災者が、落下した重機を荷台に積み込む作業を行っていたが、重機がバランスを崩し、道路脇に落下し重機を運転していた被災者は投げ出され、重機とフェンスの間に挟まれたもの。	はさまれ・巻き込まれ	解体用機械
39	10月	16時台	清掃・と畜 (その他の 廃棄物)	10~29人	牽引車両でお客様宅に廃車を引き取りに行ったところ、道幅が狭く牽引車両が乗り入れ出来ないことから、お客様の車で廃車を県道まで牽引することになった。下り坂をお客様が自車を運転し、被災者が車外で牽引前の準備を行っていたところ、下り坂で廃車が動き出し被災者に激突した。被災者は搬送された病院で10日後に死亡した。	激突され	乗用車、バス、バイク
40	11月	13時台	金融・広告業 (金融)	300人~	出張先に徒歩にて移動中、押しボタン信号のある交差点にて歩行者青信号により横断していたところ、前方からの右折車(普通自動車)に激突されたもの。	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク

平成24年 死亡災害発生事例

平成24年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
41	11月	17時台	その他の事業 (警備)	100~299人	公共浴場施設の駐車場で誘導警備を行っていた。駐車場から公道へ出る車の誘導のため公道へ出たところ、公道を走ってきた別の車に激突され、5日後に死亡したものの。	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク
42	11月	9時台	製造業 (鉄鋼)	100~299人	敷地内において、夜勤を終えて帰宅予定であった被災者が、同敷地内を通勤用のミニバイクで走行中、作業中のフォークリフトの右爪部分に被災者の腹部が激突したものの。	激突され	フォークリフト
43	12月	12時台	清掃・と畜 (産業廃棄物)	10~29人	工場内に設置してある大型の集塵機を4人で清掃するにあたり、被災者はダクト内の粉じんの堆積状況を確認するため、集合ダクト内(直径約2メートル)に入り確認していたところ、集合ダクトからつながる垂直のダクトの開口部から高さ約16メートル下に墜落したものの。	墜落・転落	その他の装置、 設備
44	12月	17時台	陸上貨物 運送事業	1~9人	配送先において、テールゲートリフター付きのトラックからキャスター付きの台車に載せた荷(重量約600キログラム)を2人で降ろす準備をしていた。被災者が荷の前に立ち、もう一人が荷の後ろに分かれて移動しようとしていたところ、台車が予想を超える速さで動き、荷がリフター部から落ちそうになったため、被災者がリフター部から降りて支えようとしたが、支えきれずに荷が落下し、下敷きになったものの。	激突され	荷姿のもの
45	12月	8時台	建設業 (土木)	10~29人	整地工事現場において、残土の上でブルドーザーを運転して残土の均し作業に従事していた被災者が、意識不明の状態に残土周辺の地面の上に倒れているところを発見された。すぐに病院に搬送されたが、胸部や腰部を強打しており、同日死亡したものの。なお、発見時、被災者が運転していたブルドーザーは残土から30メートル離れた場所に停止していた。	墜落・転落	整地・運搬・ 積込み用機械